



もし、ソウルに住む友達の家に招待されることがあったら

もし、日本人の貴方が、ソウルに住む韓国生まれの韓国人の友達に招待され、一泊することがあったら、韓国人の暮らしについてどういった感想をもつようになるでしょうか。

韓国的一般家庭と日本的一般家庭の違いと、不思議に思うところ、不便なところは、どのようなものになるでしょうか。

まず、招待される家は、マンションの可能性が高いです。そして、巨大な高層マンションの団地を目にすることとなるでしょう。どこまでも続くような巨大な団地です。

ソウルの面積は韓国の全国土面積の0.6%ですが、全体人口の20%にいたる人が住んでいます。日本の東京の人口密度に比べ、3倍にもなるそうです。高層マンションが多い理由は、狭い土地に大勢の人が住むために適しているということもありますが、韓国人の気質上、立派に見えるものを好むことと、共同生活に日本人ほど抵抗感がなく、むしろ、共同生活を好むことがあげられます。

そして、招待された時期が、1月の真冬なら、マンションの扉を開けた瞬間、外の寒さとの家の中の暖かさの差に驚くことでは



う。

1月のソウルの平均最高気温は-0.7度で、日によっては-10度以下にもなるのでとても寒いですが、家では薄着で暮らせます。床暖房のおかげです。家中に床暖房が設置されており、足元はぽかぽかで気持ちいいですよ。寝るときも厚くない布団で大丈夫です。

靴を脱いで家に入ることは日本と同じです。そして、貴方にはコーヒーが出されるでしょう。お茶を飲む習慣はあまりありません。

ちょっとしたおしゃべりの後に、いよいよ、食事です。辛い味は予想されると思いますが、キムチの種類にまずびっくり、そしておかずの数と量にびっくりすると思います。それが韓国式の“おもてなし”だからです。食べすぎてお腹を壊さないように注意したほうがいいですよ。残してもかまいません。そもそも食べ切れる量ではなく、残しても無礼にはなりませんので問題ありません。



ご飯と汁物はスプーンで食べること、おかずはお箸で食べることが韓国の作法で、お茶碗はテーブルに置いたまま食べます。手で持ち上げません。また、スプーンだけでなくお箸まで、木製でなく金属製だということを不思議に思われるでしょうね。

次は、台所に冷蔵庫が二台あることに気づくかも知れません。一台は通常の冷蔵庫、もう一台はキムチ冷蔵庫です（最近のキムチ冷蔵庫は見た目も通常の冷蔵庫に近いです）。キムチ冷蔵庫は、大型で赤色かも知れません。おしゃれな花柄かも知れません。キムチ冷蔵庫が大きいのは、韓国の主婦がキムチをまとめ買いし保存する傾向が強いため、目立つ色や柄が多いのは、大人しい色よりおしゃれで目立つものが好きだからだと思います。

食事後、お風呂の時間です。トイレと浴室が同じ空間にあります。韓国では、高層マンションの一般家庭向けの間取りでも、このようなトイレと浴室が普通です。トイレと浴室が別にあることになれている日本の方は、気になるかも知れませんね。

次に、韓国人の友達が湯船に浸からず、簡単にシャワーを浴びていることに気づくかも知れません。韓国人は、ゆっくりしたい時だけ湯船につかるので、貴方というお客様がいるからこそ、シャワーで簡単に済ます確率が高いと思います。

そして、浴室には、浴槽の蓋がないことに

気づくことができるでしょうか。

韓国では、同じお湯に家族が順番で入る習慣はありません。ですのお湯を貯めておく必要もないです。浴槽の蓋というものは韓国では存在しません。私は、日本に来て間もないころ、浴槽の蓋の用途が分からず、浴室の床に敷いたことがあります。

さて、おいしい物も食べたし、お風呂も入ったので、そろそろ睡眠の時間です。立派なベッドが見えます。横になりましょう。

但し、ベッドに横になるとき、注意してください。薄い布団しか敷かれていなくて、少し硬いかもしれませんよ。

これはトルチンデ（石ベッド）です。ドルチンデでは、石と黄土で作られており、電気で暖めます。ドルチンデは韓国の床暖房の原点であるオンドル（暖かい石）のアイデアを利用した現代の製品です。最近、黄土を粒上にして焼き上げた製品もあり、寝心地が通常のベットに近い製品もあるようです。

最近、寒いですね。

韓国人の私にとっては、冬になると、暖かい韓国の実家（ソウルのマンション）が恋しくなります。しかし、日本の方は、韓国のマンションは、暑くて、さらにベッドは硬くて熟睡できなかったという感想を持たれるかも知れません。韓国のマンションに住んだことがある知り合いの日本人は、冬は隣の家の暖房だけで十分暖かく床暖房を付けたことがなかったし、ドルチンデは硬くて辛かったと言っていました。

筆者紹介

朴沼泳（ばく・そよん）

2001年38回韓国弁理士試験合格。現在は新樹グローバル・アイビー特許業務法人の顧問を務める。ソウル生まれ、2003年から現在まで日本在住。

韓国の中央大学の政治外交学科および大阪工業大学の電子情報通信学科を卒業。趣味はダンス、好きな食べ物はチラシ寿司、キムチチゲ。好きな言葉は「修身齐家治国平天下」。